寄生虫学雑誌総目次(第11巻)

第 11 巻　第 1 号 (1962, 昭和 37 年 2 月, 1~66 頁)

論文番号　著者　論文　頁

1. 伊藤二郎：タイ国における寄生虫学最近の進歩……(1~7)
2. 中林敏夫・河原　勉・分野寛治・隅本　修・北村孝雄：*Trichomonas vaginalis* の化学療法に関する実験的研究 (2) Trichomycin, 2-Acethylamino-5-nitrothiazole および Naramycin の呼吸阻害と感染マウスに対する効力……(8~11)
3. 芹田　馨・山田睦夫・芹田栄子：Santonin 効果の増強因子に関する研究 (1) Santonin と易溶性物質間の二成分系熱分析……(12~18)
4. 佐藤重房・沢田利貞・永田泰之助・米山邦彦：日本住血吸虫症の免疫に関する研究 (5) タンニン酸処理赤血球凝集反応の検討……(19~25)
5. 小宮義孝・佐々木孝・飯島利彦：2, 3-Bisdehydroemetine (Ro 1-9334) による日本住血吸虫病治療試験……(26~29)
6. 山口富雄・上原清史・篠藤満亮：Pankiller 錠 (Dithiazanine iodide) による肝吸虫症の治療成績……(30~38)
7. 横川宗雄・吉村裕之・大倉俊彦・斉藤正己：Bithionol による無鉤条虫の駆虫成績 (附) 検便およびセロファンテープ肛囲検査法による虫卵検出について……(39~44)
8. 小宮義孝・小財　勲・鈴木黎児：蛔虫卵保有率の低下に伴う不受精卵排出者比率の増大と蛔虫予防対策の新しい段階……(45~52)
9. 内田昭夫・熊谷　睦・近藤武男・大橋平治：Bephenium hydroxynaphthoate (Alcopar) の鉤虫集団駆虫効果について (1) ヅビニ鉤虫優占地区における駆虫成績……(53~59)
10. 内田昭夫・熊谷　睦・斉藤正己：Bephenium hydroxynaphthoate (Alcopar) の鉤虫集団駆虫効果について (2) アメリカ鉤虫優占地区における駆虫成績……(60~65)

第 11 巻　第 2 号 (1962, 昭和 37 年 4 月, 67~132 頁)

11. 中林敏夫・河原勉・分野寛治・隅本修・北村孝雄：*Trichomonas vaginalis* の化学療法に関する実験的研究 (3) Trichomycin, 2-acetylamino-5-nitrothiazole および Naramycin の効力についての実験的考察……(67~70)
12. 伊藤二郎・本田銑吠・石黒満：*Mesocestoides lineatus* (条虫類) の日本における人体寄生の第2例……(71~75)
13. 森下　薫・伏見純一・西村猛・柳井富夫・李玉葉：Bephenium 類縁 ion の hydroxynaphthoate 2種の鉤虫駆虫効力について……(76~84)
14. 芦田馨：蛔虫駆虫効果における Santonin と Choleretica との関係に関する研究 (2) Santonin と Choleretica の二成分系熱分析……(85~92)
15. 追悟・山根乙彦：犬アカルス疹に関する研究 (2) 発病犬における毛包虫のリンパ節寄生とその意義……(93~100)
16. 板垣博：双口吸虫類の解剖法(英文)……(101~102)
17. 横川宗雄・大倉俊彦・辻守康・岩崎基・重康牧夫：肺吸虫症の化学療法に関する研究 (3) Bithionol による臨床治療後1カ年の遠隔成績(英文)……(103~116)
18. 横川宗雄・辻守康・大倉俊彦：肺吸虫症治癒判定法としての補体結合反応の検討(英文)……(117~122)
19. 小宮義孝・森雄一：Pyrvinium pamoate (Poquil) 少量1回投与による蟯虫集団駆虫効果 (1)……(123~125)

20. 横川宗雄・吉村裕之・佐野基人・稲坂好信・板橋卓・斉藤正己：Bephenium hydroxynaphthoate “Alcopar” による学童の鉤虫集団駆虫成績について……(126～132)

第 11 巻 第 3 号 (1962, 昭和 37 年 6 月, 133～230 頁)

21. 木村重：肝蛭症の実験的研究 (4) 山羊におけるメタケルカリア感染率, 肝における肝蛭寄生分布および糞便内肝蛭虫卵排出状況……(133～137)

22. 横川宗雄・吉村裕之・稲坂好信：Visceral larva migrans に関する研究 (2) 犬蛔幼虫の眼球内移行症の実験的成立について……(138～143)

23. 小宮義孝・飯島利彦・佐々木孝：ミヤイリガイの殺貝に関する研究 (6) Bayer 73 および Sevin の殺貝効果野外試験……(144～149)

24. 中林敏夫・西村猛・分野寛治・北村孝雄・岡本修：*Trichomonas vaginalis* によるマウス腹腔内感染実験 (4) FM 株原虫による致死感染および原虫のマウス継代による維持……(150～156)

25. 横川宗雄・佐野基人・高橋徹・野口政輝・望月久：静岡県大浜地方のウグイに寄生する横川吸虫の研究……(157～164)

26. 伊藤二郎・野口政輝・望月久：静岡県の日本住血吸虫病 (1) 研究史……(165～170)

27. 柳沢十四男・小宮義孝：ミヤイリガイの生理学的研究 (1) ミヤイリガイの酸素消費と飢餓のそれにおよぼす影響について……(171～177)

28. 小山力・小林昭夫・石井俊雄・熊田三由・小宮義孝・小机弘之：トキソプラスマに関する研究 (3) 螢光顕微鏡による虫体の観察……(178～182)

29. 石井俊雄・小林昭夫・小山力・熊田三由・小宮義孝・深沢平・斉藤正度・奥水馨：トキソプラスマに関する研究 (4) 豚肉からの虫体分離試験……(183～191)

30. 一色於菟四郎：肺吸虫卵の形態学的研究 II. 3種肺吸虫子宮内卵の比較……(192～206)

31. 野田周作：猿に寄生する *Strongyloides* 自由生活世代の比較形態学的研究……(207～229)

第 11 巻 第 4 号 (1962, 昭和 37 年 8 月, 231～335 頁) 総会記事号

第 11 巻 第 5 号 (1962, 昭和 37 年 10 月, 336～420 頁)

32. 木村重：肝蛭症の実験的研究 (5) 山羊における臨床および血液学的観察……(337～342)

33. 一色於菟四郎・冨村保・鵜川良平：*Paragonimus iloktsuenensis* Chen (小型大平肺吸虫)の近畿地方産イタチにおける自然例……(343～352)

34. 一色於菟四郎：肺吸虫卵の形態学的研究 V. *Paragonimus kellicotti* Ward (ケリコット肺吸虫)の卵について……(353～363)

35. 柳沢十四男・小宮義孝：ミヤイリガイの生理学的研究 (2) 飢餓の貝軟体組織グリコーゲン量におよぼす影響について……(364～370)

36. 河野恵・沢田利貞・佐藤重房・米山邦彦：鉤虫症の皮内反応 (3) 抗原注射による反応の消長と時間の関係……(371～379)

37. 中尾舜一：筑後川河原草地におけるミヤイリガイ個体群の年間変動……(380～386)

38. 横川宗雄・吉村裕之：Cestocide bayer 2353 (Yomesan) による矮小条虫の駆虫成績について……(387～389)

39. 小宮義孝・森雄一・山内邦昭：Pyrvinium pamoate (Poquil) 少量1回投与による蟯虫集団駆虫効果 (2)……(390～392)

40. 伊藤二郎・野口政輝・浅川豊・望月久・渡辺俊夫・州之内倭雄：静岡県の日本住血吸虫病 (2) 富士川町における新流行地発見当時の疫学……(393～399)

41. 小財勲：殺卵剤としての亜硝酸曹達の再評価 (4) 農村における野外使用と住民の蛔虫, 鉤虫の新, 再感染……(400～410)

42. 吉田幸雄・三宅健夫・中西靖郎・西田垣一郎・山敷祐亮・石川丈夫・藤坂邦彦・

田中昭男・江原真一郎：肝蛭（*Fasciola* sp.）の人体寄生２例ならびに Bithionol による本症の治療……(411～420)

第 11 巻 第 6 号（1962, 昭和 37 年 12 月, 421-532 頁）

43. 坂井豊：中国地方における横川吸虫および高橋吸虫の中間宿主と人体感染との関係について……(421～426)
44. 菊池滋・菅沼洋達・本田信二・平林春雄・市原靖：鉤虫症の病理組織学的研究 (1) 犬鉤虫の栄養物摂取と咬着部の組織学的変化……(427～438)
45. 伏見純一：蛔虫の虫卵陽性者率とそれに対する不受精卵のみの陽性者率とから真の感染者率及び平均感染虫数を直接求めうるグラフの作製について一伏見の方法の簡易化のこころみ一……(439～446)
46. 伊藤二郎・野口政輝・浅川豊・望月久・須川豊・多田茂樹・高橋担：静岡県の日本住血吸虫病 (3)富士川町における火焔放射による殺貝状況とその効果……(447～453)
47. 長花操・吉田幸雄・田辺一男・近藤力王至・岡本憲司・岡田清吾・佐藤啓一・伊藤重良・福留祥子・石川允：アメリカ鉤虫の経口感染に関する実験的研究 (1)仔犬及びモルモットに対するアメリカ鉤虫被嚢幼虫の経胃感染……(454～460)
48. 岡本謙一：日本住血吸虫ミラシジュウムと液の浸透圧(英文)……(461～466)
49. 石崎達・久津見晴彦・窪田久子：四塩化エチレン及び１―ブロモー２―ナフトールの副作用とその予防及び治療に関する研究……(467～477)
50. 飯島利彦・伊藤洋一・中山茂・山下尚：山梨県下有病地内の犬の日本住血吸虫の感染状況 (2)……(478～482)
51. 飯島利彦・伊藤洋一・中山茂・石崎達：日本住血吸虫病の診断法の研究(1) 繰返し行った MIFC 集卵法による日本住血吸虫卵陽性率の統計的解析……(483～487)
52. 長花操・吉田幸雄・田辺一男・近藤力王至・岡本憲司・岡本清吾・佐藤啓一・伊藤重良・福留祥子・石川允：アメリカ鉤虫の経口感染に関する実験的研究(2) 仔犬に対するアメリカ鉤虫被嚢幼虫の経口腔粘膜感染……(488～498)
53. 迫悟・山根乙彦：犬アカルス疹に関する研究(2) 経口感染，胎盤感染ならびに気道感染の検討(英文)……(499～507)
54. 堀田猛雄・三条英一・永橋忠彦・近藤進：僻地小中学生の寄生虫卵検査成績と蛔虫駆除について……(508～511)
55. 浅田順一・大田垣博雅・森田大三・竹内彿夫・坂井豊・小西時子・岡橋清：本邦において初めて人体自然感染を認められた *Plagiorchis muris* Tanabe, 1922 について……(512～516)
56. 竹内彿夫・浅田順一・坂井豊・小西時子・岡橋清：香川県下の肝吸虫に関する研究 (2)特に肝吸虫の人体感染例について……(517～522)
57. 竹内彿夫・浅田順一・坂井豊・小西時子・岡橋清：香川県下の肝吸虫に関する研究 (3)特にマメタニシの分布について……(523～526)

タナベの新駆虫剤!!
優れた効果を示す

鉤虫（十二指腸虫）に………

☆健保適用☆

アルコパール®

ALCOPAR®

◈駆虫困難であったヅビニ鉤虫に95%の完全駆虫率を示す
◈一回服用するだけで充分の効果を得られる
◈回虫や東洋毛様線虫に対しても、それ専門の駆虫薬に優る効果を示す
◈毒性は非常に少なく、副作用も一過性の悪心、嘔吐、下痢程度で、安心して使用できる
◈厚生省指定集団駆虫用薬

〔包　装〕 2.5g×50　3g×5·50　5g×5·50　100g

製　造　元　バロースウエルカム社
輸入販売元　田辺製薬株式会社

マルゴ印

肺吸虫（肺臓ジストマ）に……

☆新発売☆

ビチン®錠

BITIN® Tabs.

◈内服による肺吸虫症治療
◈肺吸虫症に有効率100%
◈1クールの治療で治癒
◈副作用少なく安全

〔包　装〕 錠(200㎎)　100錠・500錠

マルゴ印

製造発売元　田辺製薬株式会社
大阪市東区道修町3丁目21番地